

令和7年度一般廃棄物最終処分場の汚水処理施設における水質検査結果

番号	採水年月日	天候	原水					排水						
			pH	BOD	COD	SS	大腸菌数	全窒素	pH	BOD	COD	SS	大腸菌数	全窒素
				(mg/l)	(mg/l)	(mg/l)	(CFU/ml)	(mg/l)		(mg/l)	(mg/l)	(mg/l)	(CFU/ml)	(mg/l)
1	令和7年4月24日	晴	7.1	2.4	5.1	18	0	34	7.8	2.5	5.3	1	0	34
2	令和7年5月8日	晴	7.3	2.0	4.8	16	0	35	7.8	2.7	5.8	3	0	37
3	令和7年6月2日	曇	6.8	2.2	5.2	11	0	32	7.7	0.7	4.6	4	0	30
4	令和7年7月7日	晴	7.1	1.5	6.1	19	0	43	7.7	2.1	6.7	2	0	40
5	令和7年8月18日	晴	7.2	2.0	5.5	19	0	34	7.6	1.8	5.2	1	0	35
6	令和7年9月2日	晴	7.1	1.7	5.2	17	0	34	7.7	1.6	5.5	5	0	37
7	令和7年10月1日	晴	7.0	2.0	5.6	18	0	36	7.6	2.0	5.7	3	0	38
8	令和7年11月17日	曇	7.2	1.8	5.4	16	0	40	7.8	1.2	5.1	4	0	40
9	令和7年12月1日	曇	7.2	3.1	5.7	20	0	41	7.8	2.0	4.6	3	0	41
10	令和8年1月5日	雨	7.2	3.1	5.9	19	0	44	7.7	1.2	5.1	3	0	41
11	令和8年2月2日	晴	7.6	5.5	5.9	16	0	43	7.9	1.8	5.1	5	0	36
12	令和8年3月3日	晴	7.3	3.3	5.6	13	0	35	7.9	3.1	6.1	3	2	32
年間平均値			7.2	2.6	5.5	17	0	38	7.8	1.9	5.4	3.1	0.2	37
省令に基づく排出基準									5.8 ~8.6	60以下	90以下	60以下	日間 800CFU/mL	日間 平均 60以下 最大120以下

【用語解説】

- [pH] 水溶液の酸性, アルカリ性の度合いを表す指標であり, pHが7のときに中性, 7を超えるとアルカリ性, 7未満では酸性を示す。
- [BOD] 生物化学的酸素要求量(Biochemical Oxygen Demand)の略語で, 河川における水質汚濁の代表的な指標である。その値は, 水中の有機物が微生物の働きによって分解されるときに消費される酸素の量で表され, 値が大きいほど水が汚れていることになる。
- [COD] 化学的酸素要求量(chemical Oxygen Demand)の略語で, 湖沼や海域における水質汚濁の代表的な指標である。その値は, 水中の有機物が酸化剤により化学的に分解されるときに消費される酸素の量で表され, 値が大きいほど水が汚れていることになる。
- [SS] 水に溶けない懸濁性の物質のことである。水の濁りの原因となるもので, 日光の透過を妨げることによって水生植物の光合成作用を妨害するなどの有害作用がある。
- [大腸菌数] 大腸菌数とは, 水や食品などの衛生状態を評価するために用いられる指標で, 糞便に特異的に存在する大腸菌のみの数を測定したもので, 糞便汚染の程度をより正確に把握できます。
排水基準では, 令和7年4月1日から大腸菌群数から大腸菌数へ変更され, 新たな基準値が適用されます。基準値は, 大腸菌群数 3,000個/cm³以下から, 大腸菌数 800CFU/mL以下となります。
大腸菌は, 普通, 非病原性であるが, ときに集団食中毒を引き起こし社会問題となったO-157等のような病原性のももある。
- [全窒素] 窒素は蛋白質などの有機物も多く含まれ, 植物プランクトンの栄養源となるため, 湖沼や海域の汚染(富栄養化)の原因となる。環境基準に定められている全窒素は, アンモニア性窒素, 亜硝酸性窒素, 硝酸性窒素及び有機性窒素の窒素化合物の総量を指す。
自然界の有機性窒素は, 通常, 生物の作用を受けてアンモニアに変化し, 次いで亜硝酸になり, 最後に硝酸に変化する。河川等への窒素化合物の供給源には, 山林, 田畑からの流入, 畜産排水, 生活排水及び工場排水等がある。